

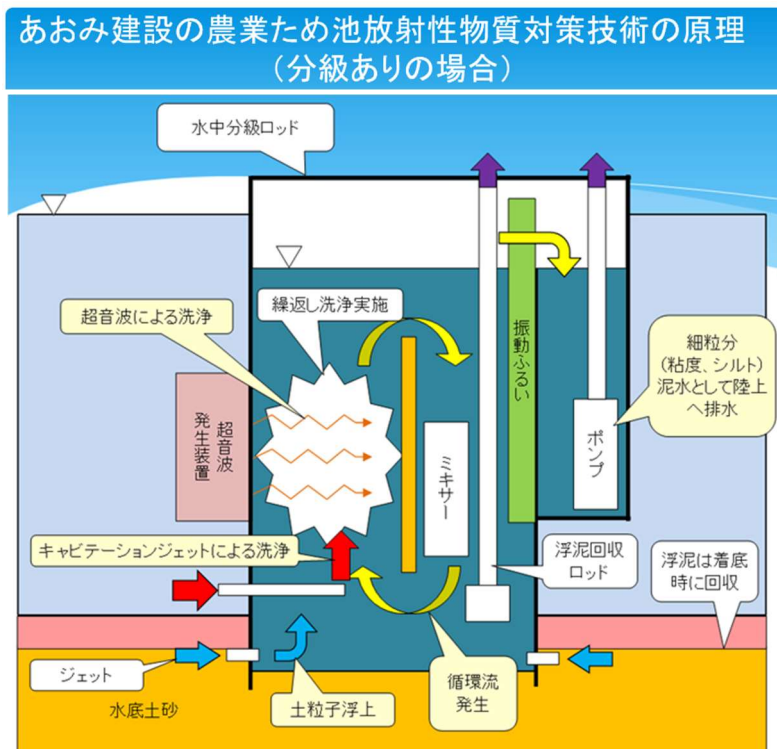
* あおみ建設のご紹介 *

あおみ建設は、企業理念として『技術で社会貢献』、『自然環境との共生』を掲げており海洋土木・陸上土木・地盤改良の技術の中核にした建設技術を活かし、良質な社会資本整備の一躍を担うことで社会に貢献し、自然と共に生きる社会の実現のため環境に配慮した企業活動を推進していきます。この理念を達成するため弊社で開発した環境関連技術を紹介いたします。

あおみ建設の環境関連技術

●水底土砂ポンプ浚渫工法（第22回国土技術開発賞入賞）

水底土砂ポンプ浚渫工法は、「ため池等」の水底の表層部に堆積した土砂を薄層で回収する工法で現在は農業ため池の放射性物質対策として多くの実績を有しています。水中ロッドを用いて閉塞された領域内でポンプ浚渫を行うので周辺に濁りを発生させない利点を有しています。本工法は、「ため池の放射性物質対策技術マニュアル（農林水産省）」に示される底質除去（ポンプ浚渫）原位置分級工法です。



※当技術は、湖沼・お堀など底泥浄化が必要と考えられる案件において、施工時の周辺環境を保全しつつ、確実な浄化を実現できる工法として、特に観光立国を目指す我が国のお堀などの浄化への展開が期待されます。

○Re-Pier 工法（第 19 回国土技術開発賞 優秀賞受賞）

Re-Pier 工法は、既設の杭をストラット部材で連結・固定し、杭を補強する工法です。水平方向に作用する地震力などの外力に対し、その補強強化により杭頭の水平変位量や杭に発生する断面力を低減できるので、その余裕を耐震性能の向上や全面水深の増深化、構造物の延命化など既設の栈橋を補強することにより、解体・新設を繰り返すことによる LCCO2 発生を最小にすることが可能となる環境に配慮した工法です。

使用するストラット部材は既設鋼管杭と連結する鞘管部と杭を繋ぐ補強材となるストラット部からなり、ストラット部は 2 本の径の異なる鋼管を組み合わせています。細い鋼管を太い鋼管から出し入れして部材長を調整することができるので、既設栈橋の杭へ補強部材となるストラット部材を容易に取り付け可能です。補強部材と既設杭間、ストラット部の鋼管同士は、モルタルで剛結・固定します。

このことより、ストラット部材を取り付けるために栈橋上部工を撤去・復旧する必要がなく、大型建設機械の使用も最小限とし、環境に配慮するとともに使用頻度の多い栈橋の共用制限を極力抑えて施工することが可能となりました。

